

# ア

アイデンティみらいは、市内・小張に本拠地を置くサッカークラブ

で、今年クラブ創立32年目を迎えます。地域のスポーツ・文化の中心地となるクラブ創りを掲げ、将来のJリーグ参入を目標に、現在は関東サッカーリーグ2部を戦っています。

今回の特集では、アイデンティみらいの選手・監督へのインタビューを交えながら、関東サッカーリーグを戦う地元クラブの魅力に迫ります。

関東サッカーリーグは、1部と2部があり、それぞれ10チームによるホーム&アウェー方式のリーグ戦（18試合）が行われます。今年はコロナ禍もあり、前期リーグ（9試合）がすべて中止となっています。後期リーグ（9試合）は7月11日に約3カ月遅れで開幕。感染症拡大防止のため、残念ながら無観客での試合開催となっています（8月14日時点）。

今回はアイデンティのトップチームの、MF都並智也選手、FW小島正之介選手、MF笠原大聖選手、それにFW南将元選手の4人にインタビューした際の内容をお伝えします。



# Vamos! アイデンティみらい

今季、チームのキャプテンを務めるMFの都並選手は、闘争心を前面に出した気迫のこもったプレーが持ち味。MFの笠原選手は今季新加入。敏捷性を生かし相手の嫌がるところでボールを受け、仕掛けるプレーが得意。FWの小島選手は得意のドリブルを駆使し、一瞬のキレとスピードでゴールを狙うプレースタイル。FWの南選手は前線でボールを受けて攻撃のリズムをつくったり、相手のディフェンスラインの裏に抜け、ゴールを狙う選手です。

仲間と練習できることが嬉しい

ーコロナの影響で前期リーグが中止となった中で、ようやく後期リーグが開幕しました。今の心境を教えてください。

**都並選手** 1カ月くらい自粛期間があって、チーム練習もできない時期があって。こんなに長くサッカーから離れていたのは初めてだったので、試合勘を取り戻すのが難しい面もありました。今はグラウンドで仲間と一緒に練習できることが嬉しいですね。